	としており、一足早く開	
利用制限有り	民館機能を持たせること	
利用料金 有料	2つの施設をつなぎ、公	-1
21時まで可)	学習センターを建設して	
(申請によって	館を解体し、新たに生涯	
開館時間 10時~18時	流施設の隣の幌延町公民	
日)	した。町としても国際交	
休日の場合、翌平	設として整備されてきま	
館日が祝日、振替	地域住民も活用できる施	
休館日 每週月曜日(休	ホール機能が主なもので、	
台装置ほか	てきました。この施設は、	
客席160席、舞	年計画で工事が進められ	
主要設備 電動式移動観	成20年度、21年度の2ヵ	行なわれた後、館内が披
室A・B・C	20年度に建設着工し、平	賓挨拶、テープカットが
主要施設 ホール・会議	究・学習の場として、平成	典では、主催者挨拶、来
延床面積約950㎡	子力に関わる国際的研	式典が行われました。式
主要構造 鉄骨造2階建	深地層研究センターが原	日(金)午前10時から開館
住所 幌延町宮園町1	国際交流施設は、幌延	開館に先立ち、10月16
国際交流施設概要		に開館しました。
	ていました。	のほど完成し、10月17日
を期待しています。	民の皆さんが見学に訪れ	ターの国際交流施設がこ
が有効に活用されること	後には一般開放され、町	た幌延深地層研究セン
館となった国際交流施設	露されました。また、午	かねてより建設中だっ
しまし?!	し役がオースン	国家交流を
•	品研究センター	幌延深地層
い構	(日本原子力研究開発機	独立行政法人口



